

「京都文教大学海外学術研究助成金」交付による海外出張報告書

2015年10月2日提出

| | | | |
|---------------------------|--|---------------|--|
| 申請年度 | 2015年度（平成27年度） | | |
| 所属学科 | 臨床心理学科 | 職・報告者氏名 | 教授 森谷 寛之 |
| 海外出張内容 (種別に○) | 目的： The 5th International Conference of Expressive Psychotherapy に参加し、コラージュ療法のワークショップ講師を務める。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学 会 ・ 会 議 |
| | 訪問国・地域：中国・蘇州 | 助成額 145,000 円 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 調 査 ・ 研修/セミナー |
| 期 間 | 2015年8月6日（木）～ 2015年8月10日（月） | | 4泊5日 |
| 上記出張期間 の研究・調査等 活動経過 | 8月6日・・・自宅→関西空港→上海空港→蘇州市（泊） | | |
| | 8月7日・・・第五回表現性心理治療国際学術検討会への参加 | | |
| | 8月8日・・・同上 研究発表座長を務める。 | | |
| | 8月9日・・・同上 コラージュ療法ワークショップ講師 | | |
| | 8月10日・・・蘇州市→上海空港→関西空港→自宅 | | |
| 研究・調査 発表等概要 | <p>中国芸術療法学会は、蘇州出身で本学臨床心理学科の初代助手であった吉先生と、蘇州大学の陶先生が主宰されている学会である。2007年に始まり、隔年で開催されており、今年で5回目を迎える。開催ごとに参加者が増え、今年は500人を超える参加者があったと聞いている。毎回、日本、香港、台湾、韓国からも参加がある。東アジア地域を含む芸術療法学会として成長をしている。</p> <p>筆者は2007年にコラージュ療法と九分割統合絵画法のワークショップを行ったが、それが中国に予想以上に受け入れられた印象がある。今回もコラージュ療法には50人もの受講者がいた。</p> <p>また、大会の看板には、九分割統合絵画法のデザインが採用されていた。陶先生が、このデザインは筆者の九分割統合絵画法から採用したと礼を言われた。通訳は、中国から日本に留学している学生、院生が対応してくれたので、いつものことながら言葉に不自由することなく快適に過ごすことが出来た。</p> | | |
| 研究・調査 発表等々の 成果の概要 | なし | | |
| 研究・調査等の 成果発表予定 | なし | | |